

かけはし さんし sun Sea

2025年7月
第2号



表紙
2.3頁
4.5頁
6頁
7頁
裏表紙
付録

イラストレーターNOBIKO
教化推進本部(各部門の紹介)
出遇うー玉光和人さん(山陽エリア)
広島別院&近う来たら寄ってみんな
土佐別院&えい店やき行っちゃよ
もっと知りたい山陽四国教区のツール
お寺の掲示板(法語ポスター/寺院向け)

かけはしSun・Sea 第2号 2025年7月 発刊/山陽四国教区 編集/山陽四国教区教化委員会広報部門 問合せ/山陽四国教務所 〒670-0044 兵庫県姫路市地内町1 TEL 079(292)3690

もっと知りたい
山陽四国教区の
ツール



スマホカメラ
または
検索してね

旧山陽・旧四国教区の
オンラインサイトなどが
7月1日リニューアルします



お気に入り登録・友だち登録
をぜひお願いします。



WEB SITE
ウェブサイト

各組寺院・別院 所在地
教務所だよりなど

山陽・四国エリアの情報等、随時更新予定

🔍 真宗大谷派 山陽四国教区

<https://sanyo-kyoku.jp/>



YouTube
ユーチューブ

動画教化
教化委員会 配信用チャンネル

YouTube画面から検索!

🔍 真宗大谷派 山陽四国教区【公式】

<https://www.youtube.com/@459shikoku>



Kyomusyo LINE
山陽四国教務所ライン

各種申請・書籍・物品など
教務所へのお問合せ

🔍 山陽四国教務所



KOHO LINE
広報部ライン

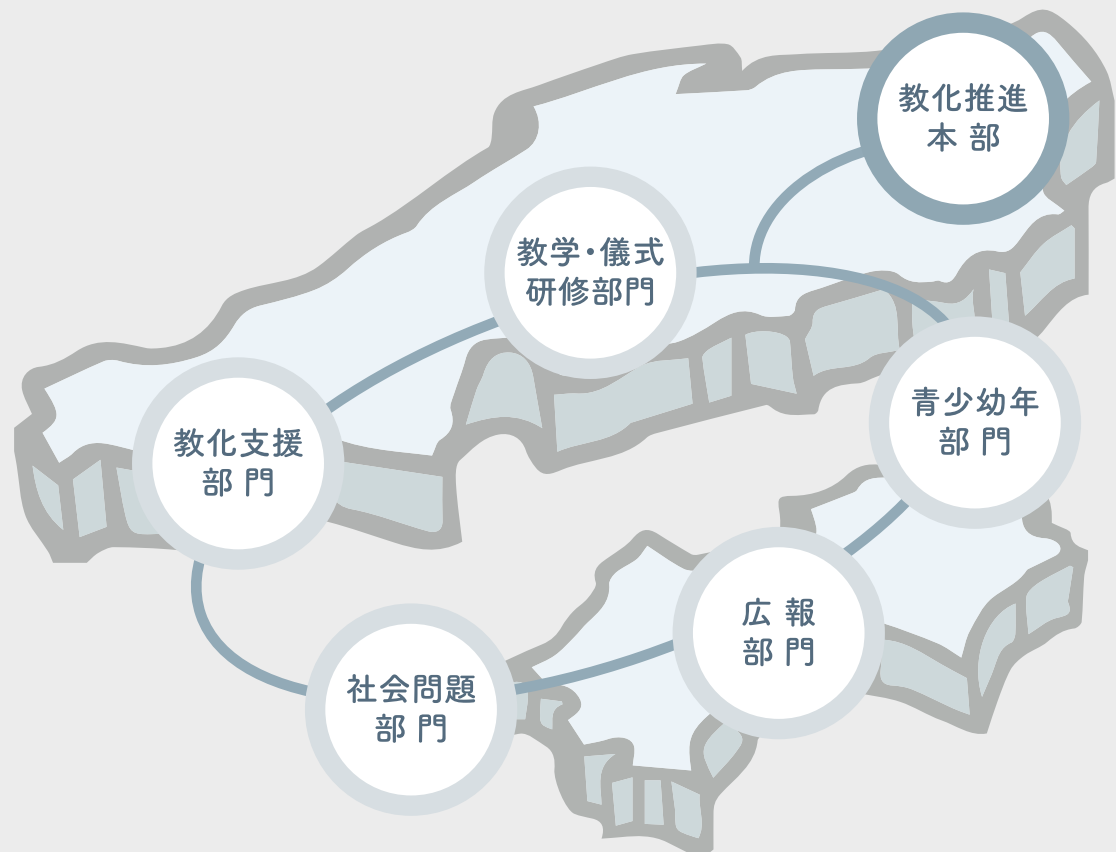
各教化事業案内
発信したい行事予定なども
受付いたします!

🔍 【広報】山陽四国教区

寺院用付録について
各お寺での掲示物の手助けになるよう、法語ポスターを付録しています。ぜひお使いください!

各部門のご紹介

2025年7月 新教区発足により、新たな教化委員会が設置されました。教化推進本部長・各部門長よりご挨拶いただきます。副本部長（各エリア1名）は、次回の紹介となります。



教化推進本部

くりすしずひと

栗栖 寂人 本部長

兵庫県第2組 正行寺



このたび山陽四国教区の教化推進本部長を拝命いたしました。

新教区はかなり広域な教区となりますが、それぞれの旧教区で大事にしてきた教化活動を土台に、新たな出遇いを大切にしながら真宗寺院の存立意義を共に確かめてまいりたいと思います。

厳しい時代の中、まさに一ヶ寺のための共同教化がさらに必要になってくると思っております。風通しの良い教化委員会を目指し皆様の協力を仰ぎながら重責を担う覚悟であります。一人ひとりが親鸞聖人の言葉を聞き、南無阿弥陀仏の声の響きを聞く、そのことを足元に教化を考えてまいりたいと思っています。どうぞよろしく願います。

青少年部門

あおやまゆういち

青山 祐一 部門長

兵庫県 赤穂組 光明寺

今年度から青少年部門の部長をさせていただきます。これまでの両教区の青少年教化活動を大切に、皆さんと共に話し合い、尋ね合いながら各組・地域の現状や課題の確認を続け、各現場の教化活動の支えとなるような事業を模索し、展開していければと考えています。

至らないところばかりではありますが、共に悩む一人として山陽四国の皆さんと活動していきたいと思っています。どうぞよろしく願います。



教学・儀式研修部門

ごとう いさお

後藤 功 部門長

兵庫県 赤穂組 西教寺



このたび、新教区発足にあたり教学・儀式研修部門長をさせていただくことになり、不安はありますが楽しんで参りたいと思います。当部門では秋安居や聖教（聖典）学習会など、主に学事を取り扱って参ります。一人ではなかなか開くことが難しい教えの言葉をみなさんとともに聞き学び深めたいと思います。特に今年度の安居は、はじめて高松を会場に開催します。個人的には安居を新教区の交流を深める重要な事業と考えています。これまでご参加いただいた方はもちろん、四国エリアの方々に奮ってご参加いただきたいと願っております。趣味は料理とお酒（呑兵衛）。

社会問題部門

ふさつね あきら

房常 晶 部門長

岡山県 美作組 本教寺

岡山県北部の中山間地区の寺院にご縁をいただき16年ほどになります。夫（住職）と子の3人暮らしで、46歳初産の息子は今年11歳になります。東京生まれの元看護師で、大谷専修学院08年度卒業生です。お寺では「坊主さん」と呼ばれています。

新教区の社会問題部門の先輩方からのご推挙とご門徒の皆さまのご理解、そして家族の応援と協力のおかげでこのたびの部門長拝命が叶っています。「あらゆる社会問題は私自身の問題である」そして「意思決定機関の男女比同数は人権」と戴きつつ歩んで参ります。



広報部門

かまだ ひろこ

鎌田 拓子 部門長

香川県 東讃第一組 高善寺



新教区発足にあたり、広報部門長を拝命いたしました。

今まで四国に閉じこもっておりましてので、この歳？になって多くの出会いがあるかもしれないことに驚いています。広域となった教区にはどんな人があるんだらう？どんな組や風土があつて、それが新教区づくりにどのように生きていくことが出来るだろう？そんなワクワク感があつたりします。

まずは皆さまが互いを知ることかけになれることが、広報部門の最初のお役目かなと考えています。その後のことは、またその時に…。どうぞ宜しくお願いいたします。

教化支援部門

ないとう かずひろ

内藤 和裕 部門長

兵庫県 赤穂組 明顯寺

この度、教区改編に伴い新たに設けられた教化支援部門の部門長のお役をあずかることになりました。

急速に進む過疎化やそれぞれの地域性をもった悩みなど、あらゆる波が待たなすで押し寄せている現状を前に、なかなか有効な手立てを見出せないもどかしさを抱える中で、教化支援をうたう部門としてどのような取り組みを進めていくのか、皆さまと共に考えながら尽力してまいりたいと思います。



出遇 つながるひろがる教区人 VOL.1



たまみつかずと
インタビュー 兵庫県 第3組 正願寺 玉光和人さん

山陽四国の地で日々、真宗の教えに聞き、歩まれている方々を紹介する連載コーナーが始まります。このコーナーを通して、この冊子のタイトルが如く、人と人、出来事、教え、言葉…それらをつなぐ、出遇っていきける「かけはし」となることを願って。

第一回目は、兵庫県第3組正願寺住職 玉光和人さんです。

―玉光さんは現在、正願寺のご住職として法務に携わっておられますが、まずは僧侶としての歩み、そして入寺までの経緯について教えてください。

お寺の次男で生まれて、お寺あるあるの「お坊さんにはなりたくない」っていうところから始まりました。お寺の勉強というか、そういうのは避けて、小中高を経て、大学もキリスト教系の大学に進みました。

それで、大学の時にダンス、ストリートダンスにはまったんです。そして、ダンスをして生きていこう、というふうに通っていたんですけど、なかなか思うようにならず、行き詰まっちゃったんです。そんな時、親から専修学院への道を勧められたんです。

―その時点で仏教や僧侶への関心があったわけではなかったんですね？

気にはなっていました。信仰するということ感覚は全くありませんでした。でも専修学院に行くと、真宗のことを学んでいくと、自分がいろいろ悩んできたことや、そもそもダンスをして何を

したかったのかという部分が、すごく結びついていくような感覚があった。真宗にきつちりと向き合うことが、初めてできたなって思えたのが専修学院時代でした。そこから流れに乗るように宗務

役員の試験を受けて、この真宗に関わる仕事、宗務役員としてやっていこうという歩みになりました。

―では、正願寺への入寺はどのような経緯だったのでしょうか？

働いていく中で、たままこの正願寺というところが跡取りを探しているという話が、私の母親にありました。というのも、こちらの前住職さんが母親といこの関

集まってくる場の楽しさや面白さを肌で感じてきたからだと思います。

―現在、子育てにも関わる中で、地域との関わりもあると思います。日々の中で感じていることはありますか？

お寺としての在り方だけでなく、子どものことですね。小学校に通ってまして、スポーツのクラブチームにも入っているんですが、その中で、子どもたちの関係、保護者同士の関係、監督・チームとの関係など、一つひとつ自分が問われる場面があるという

か。そういう態度を取るかっていうことが、「社会」（あるいは世間）の中でたくさんあるなと感じています。そこで、真宗的にか、真宗の視点を持って、その人たちがどんな関係を開いていくか、常に考えさせられます。子どもたち同士もいろいろあるので、親としてどう関わるのか、というの大きなテーマで。そういったことに丁寧に向き合い、考え続けていきたいと思っています。

係、若干遠いけれど親戚だったんです。宗務役員をずっと続けるという選択肢もあったんですが、お寺に入ると、自分のやりたいこと、活動や表現できる場所を預からせてもらえるというのは、とてもありがたいことかなと。その時はもうどうなるかわからないけれど、お寺でやっていこうという気持ちになって、入寺することにしました。

―ダンスから真宗へ。今のご自身を支える言葉や出遇いがあれば教えてください。

影響を受けた言葉や人です。やっぱり父、母からは大きな影響を受けています。狭い世界の話になりますが、私が大谷派の僧侶として歩む限り、玉光順正の名前は離れないというか、どこに行っても「玉光さんの息子やろ」って言われます。

―お父さまから受けた言葉の中で、特に印象的だったものはありますか？

父の言葉で「みんなになるなひとりになれ」であったり、「親鸞一人になることのできる宗教」

―今日はお連れ合いの奈津子さんにもご同席いただいています。最後に何か言い残したことはありますか？

妻も先日、真宗大谷派の教師資格を取得しました。僕の母の強い願い（押し？）で取得したんです。今は、お参りやお寺のことは僕が、家のことや子どものことは妻が中心で担ってくれています。が、これから先は「住職二人スタイル」でやっていけたらなと。（え、知らんし。聞いてない笑／奈津子さん）

ってというのがあります。でも、これらの言葉にびっくりするということよりは、何というか、自然に入ってきたんです。

先ほども話しましたが、ダンスでどう生きていこうかと考えていた時、行き詰まって…。これは個人的な感覚なんです。説明が難しいんですけど、自分が表現したいことと、周りから認められることが一致しない。「ほんまにかっこいいものって何なんや」「ほんまもんって何や」みたいなことを考えているうちに、いつの間にか「世間」という言葉が気になっていったんです。

―「世間」というキーワードに引っかかりがあったんですね。

そうですね。そこで本屋さんで出会ったのが、阿部謹也さんの『世間とは何か』。とりあえず買って読んでみたら、なぜか真宗教団や親鸞の思想が出てきたんですね。「へえ、あれ？」と思って。

実家に帰ると、父親の本棚にまったく同じ本が置いてあって。「なんで自分はダンスやってんのに、ここで真宗とつながってくるんやろ」と思いました。

「住職」や「坊主」といった役職や名前にとらわれず、自然にどちらもお参りに行く。たとえば、法要の導師は今僕が勤めてますけど、奈津子が導師で、僕がお茶出ししたりする、みたいなことが当たり前になったら面白いな。自分たちの中で垣根をなくしていきたいですね。

―本日はお時間をいただき、ありがとうございました。

聞き手／広報部門 藤谷・上岸

写真左／玉光和人さん 右／玉光奈津子さん



土佐別院



名称

土佐別院

電話

088-843-4686

088-843-4869 (fax)

住所

〒780-0949

高知市鳥越40-23

JR土讃線「高知商業前」駅

徒歩12分(約1.0km)

1881年

高知県幡多地方のご門徒が、本山へ奉納するお供え米を大阪便の船に積み替える際、本山使僧の法話を聴聞するための場所を設けた(高知説教所)。

1924年

土佐別院設立。高知県の大谷派門徒の信仰の中心となる。

1945年

高知大空襲で焼失。全てが灰燼に帰した。仮本堂による活動を余儀なくされる。

1984年

現在の鳥越に移転。本堂が建てられ、落慶法要が勤まる。

2025年

設立百周年記念法要を厳修。移転した当初は周りには何もない山の中だったが、現在は幼稚園や住宅地が立ち並び、多くの人々のコミュニティの場となった。地域とともに歩んできた土佐別院、これからも変わりゆく世の中で、みんなの「よりどころ」としてあり続けたい。

列座
オススメ

行事のご案内

定例法話「ご命日のつどい」

毎月28日 13:00 勤行と法話

法話 土佐別院輪番

孟蘭盆会法要

7月20日(日)10:00 勤行と法話

法話 浜口和也氏(土佐清水市誓願寺)

秋季彼岸会・永代経法要

9月20日(土)10:00 勤行と法話

法話 土佐別院輪番

報恩講

11月9日(日)10:00 勤行と法話(お斎あり)

法話 藤本浩之氏(姫路市誓福寺)



YouTube動画

土佐別院報恩講法話

(2022年 初配信時のもの)

講題「仏教とSDGs」

えい店やき、行っちゃきや



住宅街の中にある一見普通の喫茶店。ところがランチの時間は超満員!おすすめはチキン南蛮。ボリューム満点で大満足!



旭軒本店

高知市旭町3-18

電話 088-873-7877

定休日 火・第2水曜日

ジャンル 餃子・ラーメン

ラーメン店の旭軒本店。昔ながらの味の老舗ラーメン店。おすすめはあっさりとした味噌ラーメン!初めて食べる方は大抵ビックリ。一度ご賞味あれ。

広島別院



名称

広島別院明信院

教区同朋会館 広島

電話

082-241-5342 (fax共通)

住所

〒730-0044

広島市中区宝町4-16

広島電鉄5号線(皆実線)

「比治山橋」駅 徒歩8分

概略

広島別院明信院は太平洋戦争まで広島城正面に位置する(現)大手町に建立されていたが、原爆投下によって全壊焼失。戦後すぐには再建できなかったが1951年に現在の宝町に場所を移し復興した。2014年に広島別院・山陽教区同朋会館広島として再建され教区の西の教化拠点として活動し現在に至る。境内の一隅に立つ石灯籠は由来は定かではないが、被爆の跡が残されており、往時の別院を偲ばせている。

歴史(由来)

戦国時代、織田信長と石山合戦を戦っていた本願寺第十二代教如上人は、1580年に信長の武力に耐えきれず、本願寺を退去し、約2年間全国各地を転々とした。その間、教如上人は本願寺を支援していた毛利氏を頼って広島にも留まったといわれている。この時に教如上人が滞在した寺が広島別院の母体となった。信長の死後、帰京した教如上人は側近の教智にこの寺を託した。教智は院号を「明信院」と名のつたことから広島別院は寺号を明信院と称するようになった。

Check

行事のご案内

定例法話

毎月5日 14:00 勤行と法話(1月除く)

非核非戦法会

7月6日(日)14:00 勤行と対談

対談 切明千枝子氏(被爆体験証言者)
佐藤 優氏(大学院生)

秋彼岸会

9月24日(水)13:30 勤行と法話

法話 山陽四国教務所長

報恩講

12月3日(水) 14:00 勤行と法話(雅楽あり)

16:30 御伝鈔拝読

4日(木) 8:00 勤行と法話

10:00 勤行と法話(雅楽あり)

法話 藤間哲祐氏(福山市明正寺)

春彼岸会

3月23日(月)14:00 勤行と法話

法話 三須 誠氏(福山市寶田院)

近う来たら、寄ってみんさい



グランクラシック

広島市中区鶴見町14-10

電話 082-567-4327

定休日 火・水曜日

ジャンル ケーキ

広島のパティシエが選んだ美味しいシュークリーム1位の店。注文してからクリームを充填するのでシュー生地ザクッと感が楽しめる。



広島市まんが図書館

広島市南区

比治山公園1-4

電話 082-261-0330

定休日 月曜日

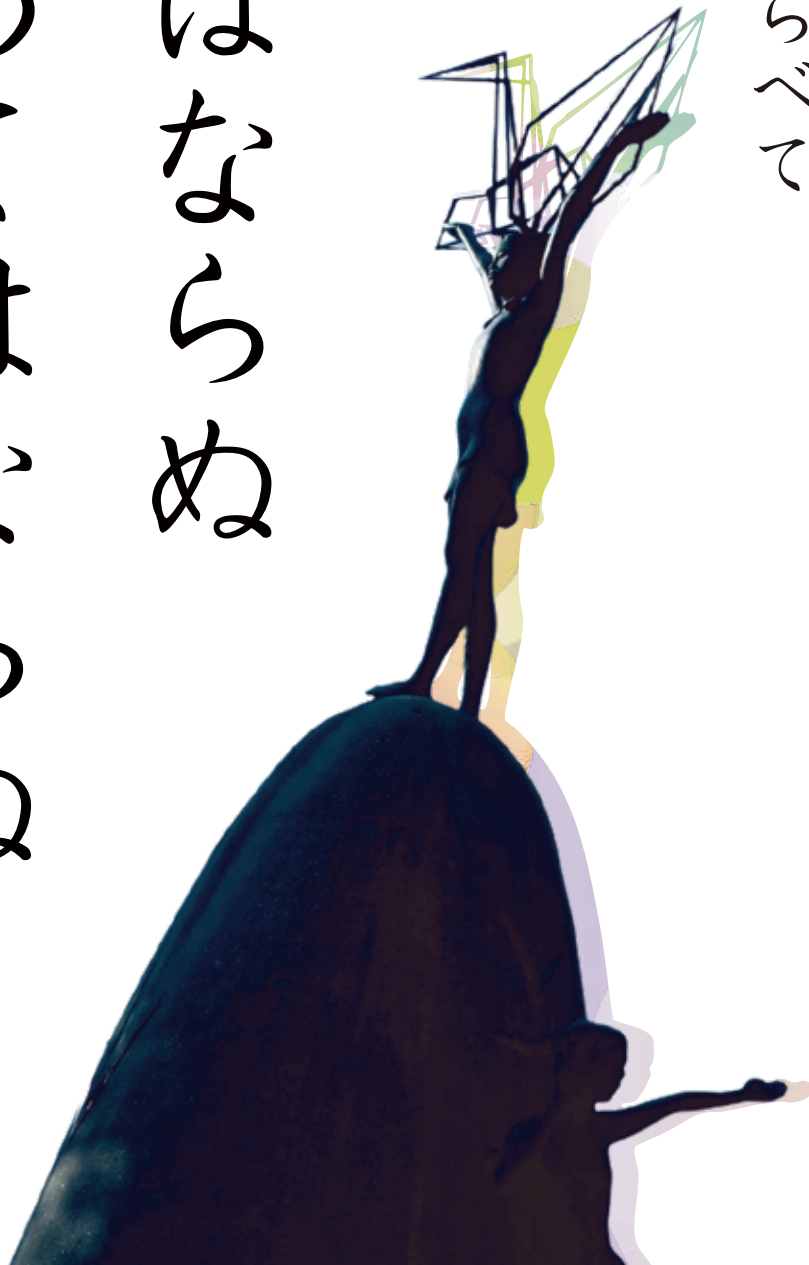
一般的な図書館よりコンパクトだが、なんと10万冊以上の漫画が所蔵されている。昔読んだものから最新のものまであり、時間を忘れること必至。



山陽四国教区

すべての者は暴力に怯え
すべての者は死を恐れる
己^{おの}が身にひきくらべて

殺してはならぬ
殺さしめてはならぬ



釈尊のことば

戦後八〇年にあたって



YouTubeサイトで検索

真宗大谷派 山陽四国教区



お寺の掲示板